



- ### 3月の目標
- ◎生活目標…学年のまとめをしっかりとしましょう。
  - ◎清掃目標…教室をきれいにしつて次のクラスに引きつぎましょう。
  - ◎保健目標…健康について1年間の反省をしよう。
  - ◎給食目標…1年間でふりかえろう。



## 卒業する自分におきたい言葉

### 卒業に向けて ～6年生へ～

6年担任 栖原 啓

卒業まであと一か月になりました。最上級生として過ごしたこの一年間は、特別なものでした。休校や分散登校、楽しみにしていた行事の中止など、困難の連続でした。気持ちが前を向かないときもあったことでしょう。しかし、みなさんは日常生活の中で、青井の伝統を守り続けてきました。青井小学校で生活してきた中で、当たり前なのが身に付いていたのだと思います。一人では難しいことも、仲間がいてくれることで前向きに取り組めたこともたくさんあったはずです。人とのつながりを再確認できた一年間でした。

小学校生活最後の晴れ舞台、「卒業式」。今まで支えてくれた人たちに、感謝の気持ちを態度で示しましょう。学校中のみんなが期待しています。

### いじめアンケートの結果について

生活指導主任 稲垣 雄一

いじめアンケートのご協力ありがとうございました。今回の結果は、以下の通りになりました。

アンケートからいじめと申告があった件数	33 件 (前回は56件)	3か月間経過し、再発していない場合に、解消になります。今回のアンケート時に、聞き取りや指導により、全て解決しております。
---------------------	------------------	--

前回(11月)に比べ、いじめと申告があった件数が減りました。いじめは、相手が苦痛に感じた時点でいじめになります。些細な言動で相手が傷つくことがあります。みんながいじめをなくしていこうという意識をもつことが大切です。

青井小学校では、今年度、各クラスでの指導や朝会での校長による講話の他に、代表委員によるいじめ防止の取り組みも行いました。いじめ防止のリーフレット、ポスターや紙芝居を作成するとともに、各クラスに赴き、直接「みんながいじめのない良い学校にしていこう」と呼びかけました。

これからも、子供たちがいじめをなくそうという意識をさらに高め、自分たちで声を掛け合うなど、主体的にいじめをなくす行動を起こしていけるように、学校全体で見守っていきたいと思います。

「失敗は成功のもと」  
たとえ失敗をしてもあきらめずに挑戦し続けたら、きっと成功につながると思います。長縄で400回を目標にしてやると、たくさん引っかけたり、うまく回せなかったり、記録が伸びない時期が続きました。それでもあきらめずに挑戦を続け、400回を超えることができました。

一組

「友」  
私は6年生になるまでは、特に親しい友達はいませんでした。けれど、5年生の後半くらいから深く話す友達ができて、とても楽しかったです。6年生になってからは、長縄を通してクラスの友達同士の友情も高まってきて、クラスがよりよい雰囲気になってきています。だから、この字を選びました。

一組

「次の夜明けがまた訪れる」  
この言葉には、絶望してしまうことや失敗をしようことがあっても、いつかは成功するということが表されているのではないかな、と感じました。上手くいかずに悩んだ時、友達とケンカした時、困難にぶつかった時にこの言葉を思い出すと、さらに先へ次へと進もうと思えました。これから先もたくさん失敗するかもしれないけれど、「夜明け」に向かっていけるようになりますようにしたいです。

一組

「永劫回帰」  
この言葉には、「一瞬一瞬を大切に生きる」という意味があります。卒業が近づくにつれ、より時間の大切さを感じられます。だからこそ、「今この一瞬を大切に生きられるようにしたい」と思い、この言葉を選びました。限られた時間を、より明るく笑顔で過ごせるようにしたいです。

一組

「0(ゼロ)か100(百)」  
長縄の練習の時に先生に言われました。これまでを振り返ると、音楽会や運動会では、全員の気持ちが100(百)だったから成功したと思います。私は「100(百)」で卒業したいです。

二組

「才能とは自分を信じること」  
ぼくは、自分よりできる人やプロスポーツ選手は、才能があるからと思いき、逃げていた。しかし、自分を信じることでできると思えばいいと思えた。これから、どんなことがあっても、自分を信じていく。

二組

「課題解決」  
今まで困難にぶつかったり、大きな失敗をしたりしても、時間をかけて解決してきた。これから先も少しずつの積み重ねで、困難を乗り越えていく。

二組

「最初から全力でいかない人は、その時点で先がない」  
六年生になったとき、この言葉を知り、何か一つでも全力で頑張ってみようと思いました。卒業式までに、自分の苦手なことを全力で取り組みたいです。

二組